

除雪問題待ったなし！力をあわせて解決！

地域除雪活動☆実践ガイドブック

【町内会・自主防災会向け】

～暫定版～

毎年降り積もる雪。雪は多くの恵みをもたらす半面、生活する上で様々な苦労や困難も生じます。特に大雪に見舞われると、日々の雪かき(除雪作業)で大忙し。高齢化が進み、人口も減少していく中、自宅の雪かきができない人は増える一方、地域の雪かきの担い手は少なくなっています。冬の災害や雪による事故にも備えていかなければなりません。地域の雪問題、みんなで考え、力をあわせて解決！皆さんの地域でも実践してみませんか。

目次

表紙	1
皆さんの地域、雪でお困りのことはありませんか？	2
地域ので、できそうなことからトライアル！	3
いざ始動！ 地域除雪活動に向けた実践イメージ	5
地域除雪活動☆実践アドバイス！	7
おわりに	8

雪でお困りのことはありませんか？



高齢のために
自分で雪かき（特に
雪下ろし）できない家
が増えてきたなあ…



地域で公民館の
雪かきをやっているけど、
人手が少なくて…



最近、雪下ろし業者は
なかなか来てくれなくて…



屋根からの転落、
水路転落、除雪機による
事故に備えていかないと…



大雪になると
家のまわりが雪で埋まって、
雪下ろしができない…



早朝、除雪機械が
玄関先に置いていく雪の
片付けが大変、
凍った雪の塊は重くて…



通学路が雪で
狭くなり、子ども達が
交通事故にあわないか心配…



空家が増え、
屋根雪もそのままだから
倒れてきそうだ…



地域ので!

できそうなことからトライアル!

例えば・・・各地で様々な取組が行われています

■ 初級編 ～取り組みやすいことから始めよう～

○地域の施設を共同除雪

週末の午前中などに、住民がスコップを持って集まり、公民館、神社、防災倉庫、消火栓など地域にある施設の雪かきや雪下ろしを行っている例があります。

○地域を歩いて冬の点検(スノーパトロール)

山形県長井市清水町では、防災活動として、毎年1月、住民で区内をパトロールし、どんな雪問題が起きているのか、必要な対策は何かを確認しています。



○毎年、決まった日に除雪活動

富山県南砺市城端地区では、毎年1月の最終日曜日を雪無しデーと決め、住民が総出で自宅前、道路わき、公園、歩道などの雪かきを行っています。冬の防災訓練にもなっています。



■ 中級編 ～地域でボランティア隊などを作ろう～

○ボランティア隊が高齢者のお宅を除雪

地域住民でボランティア隊を組織し、高齢者のお宅などを除雪している例が各地で見られます。お金をもらって作業を引き受けているところもあります。

○ボランティア隊で小型除雪機を有効活用



青森県青森市赤坂町会(赤坂スノーバスターズ)では、3台の小型除雪機を活用して(1台は県から貸与)、歩道や幅員の狭い道路の排雪、雪下ろし後の処理などに活用しています。

ここで紹介している取組は代表的な例です。工夫次第で様々な取組が可能です。

OPTAで通学路の歩道を除雪

青森市堤小学校区除雪協力会では、PTAがボランティア隊を作り、保護者が当番制で、通学路の除雪作業を行っています。スコップやスノーダンプで雪かきをしたり、小型除雪機を活用したりしています。



■ 上級編 ～行政や学校などと連携しよう～

○地域と行政が協力して排雪

山形県村山市袖崎地区では、市や県と協力の下、道路を通行止めにし、沿道の世帯がいっせいに屋根雪や敷地内の雪を道路に出して、ダンプトラックで排雪しています。



○中学生が学校近くの高齢者のお宅を雪かき

山形県尾花沢市民雪研究会では、総合学習の一環として、中学校や地域と協力しながら、中学生による学校近くの高齢者のお宅の除雪ボランティア活動を進めています。



○地域外からの除雪ボランティアを受け入れ

越後雪かき道場(NPO法人中越防災フロンティアが開催)では、雪深い集落を会場として、地域外から除雪ボランティアを受け入れ、高齢者宅の雪かきを手伝ってもらっています。集落の住民が雪かきの指導や活動場所の調整を行っています。



○要援護世帯などの除雪を支援する仕組み

地域(区・集落・町内会)として、行政からの助成金や交付金をもらい、自宅の雪かきができない要援護世帯等を支援する仕組みが各地で見られます。地域住民が雪かきや雪下ろしを行ったり、業者に作業を委託したりしています。

○真冬に救急救命、AED、命綱の講習

そのほか、除雪作業中の発症(心筋梗塞、脳梗塞など)に備え、冬に救急救命やAEDの講習を行ったり、雪下ろし中の転落を防ぐための命綱講習を行い、安全の確保に努めている例もあります。

いざ始動！ 地域除雪活動に向けた 実践イメージ

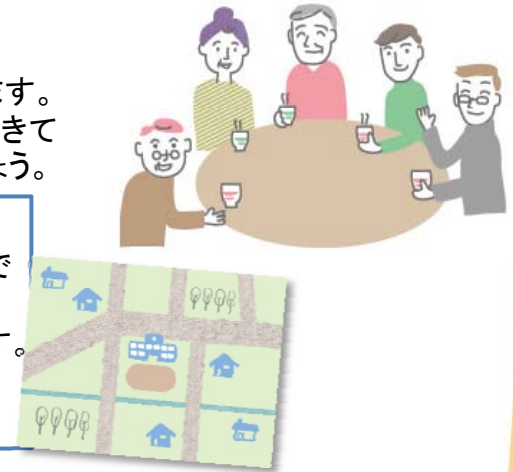
私たちの地域でも始めてみたい！
でもどうやって進めたらいい？

1 まずは話し合いから「地域の雪の困りごとは何？」

雪で困っていること・・・ 地域によって、または住民一人ひとりによってそれぞれ違います。例えば雪が降るシーズンの前に、住民が集まる機会をつくり、「どこでどんな雪問題が起きているのか」、「誰がどのようなことで困っているのか」を話し合うことから始めるといいでしょう。

【ポイント】

- 地域の大きな地図などを囲んで話し合いを行うと、効率よく問題を把握することができます。
- 高齢者と若者、男性と女性、家の立地などによって、雪の問題はそれぞれ異なります。様々な立場の方が話し合いに参加できると効果的です。
- 早い段階で行政窓口(担当者)に相談に行き、協力関係を作っておくといいでしょう。



2 地域の課題が見えてきます

話し合いの中から、きっと様々な発見や気づき生まれるはず。「この場所でこんな問題が発生していたのか」、「雪かきで苦労している人がこんなにいたとは」、「確かに雪捨て場が足りない」、「事故が起きるかも」、「人手がないなあ」など、共通の課題が見えてくるはずです。

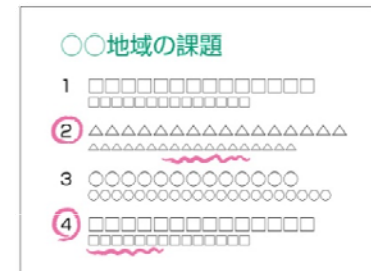


3 解決に向けて課題を絞り込みます

最初から全ての課題に対応するとなると大変です。あれもこれもだと、結局何もできずに終わってしまいます。どこから挑戦するか、取り組む課題を絞り込んでいきます。

【ポイント】

- 課題の絞り方には大きく2種類があります。
 - ① 地域で深刻な問題となっており、すぐにでも解決しなければいけないものを選ぶ。
 - ② 取り組みやすく、住民が参加しやすいものを選ぶ。



いざ始動！ 地域除雪活動に向けた実践イメージ

4 課題解決の方法を考えましょう

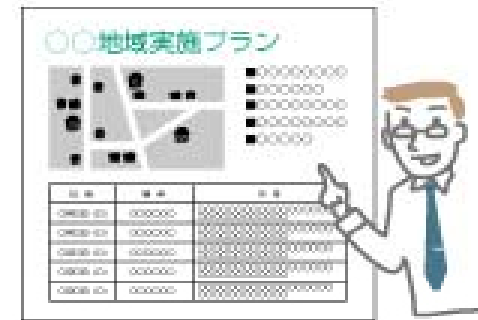
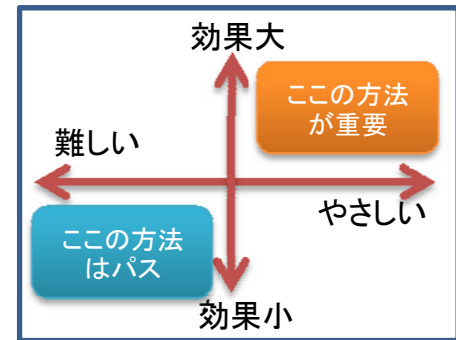
取り組む課題が決まったら、どうやって解決すればよいかを話し合います。各地の事例なども参考にしながら、最初は、「できる」「できない」にこだわらず、様々なアイデアを自由に出しあいましょう。その次に、効果が大きくて簡単なものを中心に解決方法を絞り込んでいきます。

5 実施する活動内容を決定！ 準備もしっかりと。

話し合った解決方法をもとに、地域で取り組む除雪活動の内容を決定し、準備を進めましょう。実施プランづくりが重要となります。

【ポイント】 ～実施プランの主な事項～

- いつ、どこで、どんな活動を行うか。
- 誰に参加してほしいか。誰がどうやって周知するか。
- 必要な物品は何か。誰がどうやって手配・用意するか。
- 当日の流れ(タイムスケジュール)、役割はどうか。
- 事前に相談や調整が必要なところはあるか。誰が調整するか。
- 費用はかかるか。どのように支出・負担するか。保険は大丈夫か。 etc



6 いよいよ本番！ 地域除雪活動の実施

さあ、当日です。計画した内容にしたがって、地域除雪活動を実施しましょう。活動の様子を写真撮影するなど、記録も残しましょう。事故にあわないように除雪作業中の安全には十分に気を配りましょう。

7 活動の振り返りを ～次のステップに向けて～

活動が無事終わったら、参加者で振り返りの場をもちましょう。よかった点、わるかった点、改善のアイデアなどを話し合います。「よし、次もがんばろう」という気持ちが確認できれば大成功です。



ここまで進むことができたなら、もう一度 **1** からチャレンジ！

地域除雪活動☆実践アドバイス！

■安全こそ第一！

毎年、雪による事故で犠牲者が発生しています。特に豪雪になると、全国で100名以上の方が犠牲になります。4分の3以上は除雪作業中。1人で作業していたために亡くなったと考えられるケースも少なくありません。地域除雪活動中の安全確保には十分に気を使しましょう。例えば除雪作業中に声かけや見守りを行うことで、事故の防止にもつながります。

⇒参考資料を参照

一人での除雪作業は危険です！
地域一斉の雪下ろしなど
除雪は必ず2人以上で！



「雪害対策のページ」

<http://www.bousai.go.jp/setsugai/>

この3つの組み合わせが重要です。

■行政ともつながっておこう！

地域の力ですべて解決できればいいのですが、難しいことも多いはず。そのような時は行政に相談してみましょう。各地の事例をみると、行政からサポートを得ているケースが多くみられます。例えば、活動費の支給（除雪機械の燃料費、作業員の謝礼、保険代など）、除雪機械の提供・貸与、情報提供などです。雪対策の分野でぴったりの制度がなくても、他の分野で関連する制度があるかもしれません。



■必要なら外部の力を！

地域除雪活動の実践に至るためには、住民による話し合いのプロセスがとても大切です。必要であれば専門家（大学の先生、地域づくりに関係した民間団体やNPO法人のリーダーなど）の力を大いに活用しましょう。地域住民以外の方が客観的な立場から話し合いを進行することで、課題や解決方法も見つけやすくなります。

自助

家族やその近親者
で雪かき

共助

住民どうして
協力して雪かき
(ボランティア含む)

公助

行政の制度を
活かして雪かき

おわりに

雪国は毎日が防災訓練 「地域除雪活動」を住みよい地域づくりのきっかけに

除雪作業の大変さは、雪国で生活する人たちが避けては通れない課題。地域の力で向き合うことにより、除雪作業が地域づくりの実践の場となっていくことを期待しています。

雪は日々の生活と密接に関係しており、住民の関心は常に高く、時には敵対しつつも折り合いをつけて暮らしていかなければなりません。地域除雪活動はまさに地域づくりの格好の「きっかけ」といえるでしょう。

地域除雪活動の実践を通じて、地域の現状を知ることになり、地域の将来について考えることにもつながっていきます。住民どうしのつながりが強くなり、結果として雪害だけでなく他の自然災害に対しても強い地域となります。さらに、それは冬だけでなく、また災害時だけでなく、年間を通して、安全安心で暮らしやすい地域コミュニティづくりへとつながっていきます。

地域の雪問題、みんなで考え、力をあわせて解決していく！皆さんの地域でも実践してみませんか。

除雪問題待ったなし！力をあわせて解決！

地域除雪活動☆実践ガイドブック

国土交通省国土政策局地方振興課

〒100-8918東京都千代田区霞が関2-1-3 電話 03-5253-8404 ファクス03-5253-1588

- 雪害対策のページ <http://www.bousai.go.jp/setsugai/>
- 豪雪地帯対策のページ http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000010.html
- 共助・公助による地域除雪の取組事例集 <http://www.mlit.go.jp/common/000208226.pdf>